

# いつまでも枯れずに生きて！ 旧津倉家の庭の松



枯れた枝を伐採しました。



樹木医に診断・調査してもらいました。

1月24日、しばらく前から松枯れが気になっていた掛塚の旧廻船問屋・津倉家の庭の松を樹木医に診断・調査していただきました。

この松は赤松と黒松とが交配して出来た「多行松(タギョウシヨウ)」。根元から幹が枝分かれし、捻じれた幹や枝が株立ちのように茂っている美しい松です。一部の枝が枯れ始め、以前から、その原因や治療法について、専門家のアドバイスを受けたいと考えていました。

診断の結果は、松くい虫などではなく、地下水の貯留によって根が傷んでいる可能性があるとのこと。枯れた枝は伐り、地下水の流れを確認し、絡んでいる他の庭木の根を伐り、肥料を与えると良いとの治療方針が伝えられました。

そして、1月31日に豊樹園の作業で枯れた枝が伐採されました。

大きく枝を広げた松は、旧津倉家の庭のシンボルツリーです。

西側半分の枝はほぼ失われてしまいましたので、見守っていた私たちにとっては、かなりショックな作業です。もうこれ以上は枝を失わなくてもいいように、大切に大切に見守っていきたいと思います。

記事…齊藤朋之

みんなと倶楽部  
My hometown Kaketsuka

MINNATO CLUB  
ESTD.2016

第24号

P1 いつまでも枯れずに生きて！  
旧津倉家の庭の松

P2 座敷の襖がお色直し？

P3 文化財を活用したまちづくりをめざして

P4 ちよつといーけ？  
横町川口武司さん

## ちよつといーけ？

コロナ禍のため取材は津倉邸内でマスクを着用し、距離を十分にとってお話を伺いました。

### 川口武司さん 78歳(横町)

商業高校を卒業後は東京に就職されたんですね？



当時の学生服姿



現在

東京にある岡常商店という砂糖を製造販売する会社の営業で集金をしていました。独り立ちするまでの最初の三か月ぐらいは学生服を着てセールの人と一緒に取引先を回っていたんだよ。(笑)お客さんには「学生服は印象に残って良いよ」と言われました。それから会社で背広を作ってくれてね、お客さんともだちだん話ができるようになって・・・なんか思い出しちゃったなあ。(笑)

学校でも小切手や手形なんか教科書に載ってるのしか見たことないのに集金は百万円(小切手や手形)なんて大金もあった。その時の僕の月給は9800円。(笑)移動は車なんかないから電車ですよ。定期券があったら路面電車は乗り放題で集金の途中に浅草の仲見世の辺りなんかもずいぶん行ったな。取引先は明治製菓、森永製菓、ロッテ、あとは和菓子屋さんとかね。ロッテは僕の担当で当時はカムばかりだったけどちよつと来年からチョコレートを出さって時だったんだよ。

—東京での暮らしは？ 休日などは何をしていましたか？

会社の寮だけけど社長が住んでいる屋敷のすぐ横でしたから、どちらかというと「丁稚奉公」みたいな雰囲気でしたね。仕事の帰りに先輩と初めて居酒屋へ入って飲めないお酒を飲まされたよ。ソフトボールしかやったことないのに会社の野球チームで試合をやったりね。冬になると晴海のスケート場、夏はみんなで千葉まで海水浴に行ったりしたね。あと、休みの日に銀座を一丁目からずっと歩いて、お上りさん丸出しで眺めたのを覚えているよ。(笑)

—砂利を採取する方法や運搬方法は時代によって変わっていったんですか？

僕が入社した頃は砂利採取船で掘ってたよ。船には碗状の容器がたくさん並んで付いててさ、ぐるぐる回って砂利をすくい上げるんだ。船の一番上で容器がひっくり返って要らないものと製品に選別されると、製品はベルトコンベアで直接トラックの荷台へ積まれて貨物ホームに運ばれる。その当時は会社の近くに天竜川駅から引き込み線ができていてそこから貨車に積み込んで地方に発送してたから貨物ホームは盛況でしたよ。それから時代

※天龍砂利(株)について…戦後の復興で砂利の需要が増え天龍運輸(株)「明治二五年創業 創業者は金原明善。現在の丸運(株)の砂利部門として昭和20年に創立されました。当時から天竜川の砂利は質が良く、愛知用水、東海道線や新幹線の線路の敷石、県西部の国道一号线、旧浜松市役所の建屋等々・・・にも利用されました。

とともに輸送方法も鉄道輸送から現地まで直接運べるトラック輸送に変わっていったんですよ。

大水が出そうなきには砂利船が流されないように鉄橋の土台へワイヤーで縛り付けこともあったよ。僕が会社に入る以前には台風の後には船が中洲に埋まるように取り残されていて、それを出すのに自衛隊が来たことがあったって聞いたよ。それぐらい戦後の復興には砂利が必要だったってことだよ。

—同級生だった津倉家の息子さんのお宅に遊びに行ったら・・・

子供の頃に津倉邸へ遊びに行った時に、自分の家庭との違いにカルチャーショックを受けたよ。玄関を入ったら洋館みたいな部屋の中にピアノがドンと置いてあってね、あれにはびっくりしたよ。ピアノなんか見たことないだもんで。(笑)家に遊びに行ったのは何回でもないけど屋敷の中で映画を見せてもらったり親切にしてもらったよ。

—貴船神社の総代を長く務められたそうですね

僕は総代をやるまでは神社II屋台みたいに思ってたんだけど、神事で神様を拜むという事を毎月やるようになってお伊勢様にも年に数回は行くようになったよ。やっぱり信仰心が大事だよな。総代としての仕事はそんなに多くなかったけど、神様に仕えるというか氏子のみんなから神社を預かるよつな気持ちでやらせてもらいました。



千葉の海水浴場にて。手前左が武司さん。



作業中の砂利採取船。天竜川にて。



子供の頃。一番右が武司さん。

同級生からも昔から真面目だったと言われる武司さんですが奥様とのドライブの時には行先も決めず行き当たりばったりで家を出ることがよくあるそう。今回の取材では初めて聞く砂利採取や神様への信仰心のお話などもとても楽しくお聞きすることが出来ました。今回書ききれなかった天龍運輸や天龍砂利と掛塚との係わりにつきましては次の機会に紹介させていただきますね。

「取材・記事のりこ&ゆり」

■「文化財ガイド」講習会  
 二月四日、静岡県文化財課から送られたオンラインの映像を、竜洋支所の一室に九名の会員が集まって熱心に視聴しました。

■「地域計画」紹介動画の撮影  
 一月二十八日、好天に恵まれた旧津倉家住宅の前で、みんなと倶楽部の名倉とお雛子保存会の関が、インタビューを受けました。廻船問屋や伊豆石、掛塚まつりなどを紹介しましたが、この動画は、各地の映像を含めて十五分くらいのものに仕上がるそうです。

■「文化財ガイド」講習会  
 二月四日、静岡県文化財課から送られたオンラインの映像を、竜洋支所の一室に九名の会員が集まって熱心に視聴しました。

二つ目の講義は、「ホールアース研究所」の山崎宏さん。  
 「ホールアース自然学校」は、自然と対話する感性(「自然語」)を身につける活動を続けており、「来訪者がいつも主役」で、動物と共に富士山ろくで思い切り遊ぶ「遊牧民キャンプ」が大人気ということ。山崎さんの「ガイド八か条」は、①五感を使う、②ルールで拡大するなど目線を変える、



「地域計画」紹介動画のインタビュー撮影

記事 鶴藤 孝

■「地域計画」説明会  
 二月十二日には、磐田市文化財課の谷口主任に竜洋西会館に出張していただき、磐田市の「地域計画」、特に掛塚地区でこれからどんな活動をしていったらいいのか、伺いました。会場には「推進団体」に認定された「掛塚屋台雛子保存会」と「みんなと倶楽部・掛塚」の会員二十八人が参加して熱心に聴講し、質問していました。

次に、「伊豆半島認定ジオガイド」の齊藤武さん  
 の講義を聞きました。

最初に静岡県文化財課の田村隆一郎主幹から趣旨説明がありました。  
 「文化財保護法」の一部が改正され、従来の「保存」の考え方から「活用しながら保存する」方向へシフトしていくので、これからは、各地の「地域計画」を中心に、歴史文化のストーリー性を高め、様々な文化財と結びつけた展開にしていきたい。多様な地域人材による連携が重要になり、そのためにも文化財ガイドの育成が大切と話されました。

③三択のようなクイズ仕立てにする、④写真やイラストを活用する、⑤話すトーン、テンポを変え、⑥来訪者が何を求めているかイメージする、⑦聴衆を参加者にする、⑧重さ、広さなどを何かに例える、何かと比較する、というもので、大変参考になりました。

私たちも、旧津倉家や掛塚の歴史、街並みについて多くの人たちを案内していますが、今一度振り返って、よりよいガイドを目指していきたいと思っております。

座敷の襖がお色直し？



旧津倉家住宅の座敷には、福田半香、平井顕斎の描いた山水画の襖絵があります。

表座敷(南側)と奥座敷(北側)を隔てる襖で、二間半(十五尺)を四枚の襖でつないでいます。奥座敷側が、川崎村(現牧之原市)に生まれた平井顕斎、表座敷側が見付宿生まれの福田半香の作品です。一人とも、蜜社の獄で捕えられ、自害した田原藩の家老、渡辺華山の高弟です。

長い年月、陽にさらされて、劣化が進んできたため、襖から取り外して別途保存することになり、昨年十月の見学会で裏打ちをして掛軸状に表装した襖絵を公開しました。

この本物は通常は劣化が進まないよう倉庫に収蔵し、必要な時だけ取り出して展示します。

座敷には、実物大の写真を印刷して元の襖に貼ったレプリカを製作し、十二月一日に設置しました。

写真技術や印刷技術の向上で、本物と見分けがつかないほどで、黄色く焼けた紙の色も修正して白くなり、描かれた当初のような襖になりました。

次の一般公開の時には、是非この襖を見に来てください。

記事 名倉慎一郎



次回一般公開をお楽しみに!



会員・賛助会員・ボランティア会員募集!

「みんなと倶楽部・掛塚」は、湊町掛塚の歴史を刻んだ貴重な文化財を守り、郷土の文化遺産として後生に引き継いでいくことができるよう、旧津倉邸の維持管理に協力しながら、掛塚地区が活気のあるまちになるための活動を展開していこうと考えています。私たちと一緒に活動していただける方を募集しています。是非、ご参加ください。

正会員

運営・企画に携わっていただけます。年会費 3,000円をお願いします。

賛助会員

会を側面から支えて頂きます。会への行事も自由にご参加ください。1口1,000円の年会費となります。

ボランティア会員

会の事業・イベントに、いつでも気軽にご参加ください。会費はありません。小・中・高校生の方も気軽に参加してください。

振込先はこちら

静岡銀行 竜洋支店 普通預金  
 口座番号 0418125  
 名義: みんなと倶楽部掛塚 代表 池田藤平  
 ゆうちょ銀行 店番 238 普通預金  
 口座番号 5027208  
 名義: みんなと倶楽部・掛塚

